

激流

原作 三上於菟吉
監督 村田 實
(主・演) 高木永二 夏川静江 岡田時彦 入江たか子 中野英治 北原夏江 小杉勇 川又堅太郎 島耕二 佐久間妙子

に七萬圓を興へて更生しようとした。併し利に敏く淫奔な蝶子は最早恭太郎に興味を失つて混血児のピアニストと第十番目の戀を語つてゐた。
恭太郎は遂に破産した。太陽新聞社の記者村田によつて逸早く真相が發表された。事業も地位も金も名譽も失つた恭太郎の前にはたゞ自殺があるのみだつた。下宿で三吉の骨折りによつてカイゴウしたお初はやがて、愛の花が咲かうとした頃、三吉と専助は藤原貿易商會に雇はれる身となつた。専助は益々蝶子に對する戀の煩惱を何うする事も出来なかつた。
三吉の力によつて蝶子を僞る者の間に惜しまれたチー

平町甜忌町(縣社通り)

宴會席の設備あり 小宴會 歡迎す
美味で評判の『平町甜忌町』電話四六〇番

日曜歌壇

田町 渡邊浮舟

りホテルの一室に誘ひ出し、たが専助はそれも失敗した。二吉は蝶子を辱しめた、その夜専助は如何なる恥をも蝶子に對する愛慾の前には斷ちかね蝶子の家を訪ねた。彼は蝶子の家で恭太郎に會つた。二人の間にははげしい争ひがあつた。
争の後恭太郎は専助の家を訪れた。恭太郎は専助に誠の兄弟に非ざりし事を説いた。
その頃から千島恭太郎は打ちつゞく經濟界の不況に再び起つ能はざる痛手を被りせて最後の避難所と蝶子

○桃の花だいらに添へてひな祭り
○老の眼にまた涙なり箱のひな
○子を思ふ親の心や桃節句
南町 山口秘明
○心中を止せば二人は寒くなり
渡邊穂都子
○ビール箱にわがづくりの茄子はたけ
○獨シヤクのチビリ〜に夜も更けて
久美子
○春の日ざしに子は遊ぶ地にいがかれし影ものさかに
春の訪れ
白銀町 佐藤 藤

さみごりに 耕人の手には銀の光れり
○紅梅のほころびとめし二輪 春は歌しり賤がふせ家に
城山 まさみ生
○教會の窓の硝子に輝ける 春の夕べのにはひさびさ
○青きかけ歩みつかれし人々の 無言の頬に絶えしみ入る
○鶯の一聲高く飛び行きぬ 春の静けき眞晝の中を
呂九三呂
さびしき者よ母なし子
悲しき者よ母なし子
うすら寒き春の夜に
一人川邊にたゞつみて空を眺めて泣いてゐる
遠い〜大空に
戀しき母様おはすなら
一目會い度い母様に
川邊に一人泣いたれど
せんなき事と諦めて
一人さびしく歸り行く
悲しき者よ母なし子

お花見には
銘由良 瓶詰
酒乃助
○先約五千ケ限り 孟一ケ附
○花見手拭付二合瓶詰一本三十錢
平町 四丁目
永山醸造店總發賣元
電話二〇七番

電氣治療!!!

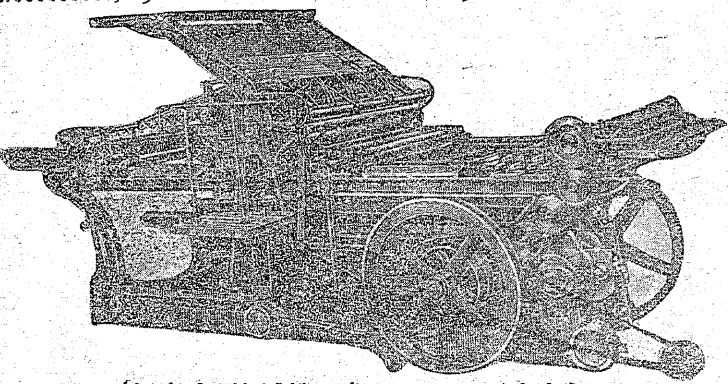
來れ難病に悩む方は
電氣の靈妙の作用を不可思議の効顯によつて速に治療せられよ
●療法主治適應症!!!
☑神經衰弱 ☑神經痛 ☑神經痲痺 ☑胃痙攣 ☑ヒステリー ☑リウマチス ☑肩コリ ☑遺尿病 ☑にきび ☑そばかす ☑ワキガ ☑腰痛
◎豫防ノ爲メ血壓測定器ノ設備アリ
平町仲間町 大工町踏切際
箱崎電氣専門治療所
電療學士 箱崎末松

櫻花案内

松ヶ岡は申すに及ばず新川端も
其の美を競ふて居ります
●春先の郊外御散策には
最も衛生的な 最も滋養豊富な
そうした上にお子様達のお好みになる
久保田のパンを
平町元郡役所前 電話八〇四番

石版活版印刷物

早く良く安く
最も美術的に
調製致します
是非御用命
下さい
多少に拘はらず
電七五七へ
お掛け下さい
直ぐ店員お伺ひ
致します
お花見の印刷物
特に大勉強
東北日日新聞印刷部
丸山印刷所
平町前通り 電七五七



(用應力電) 機械刷印シマ版石式逸獨

社告

無料公開
●観る映画の夕
本社民衆ゴ楽デーの催し
大地の春はは、えんで居ります。
春の象徴である櫻はやがて其のケンランの美を誇る事せう。
此の春……此の花……それは激甚であり同時に複雑なる社會相の渦巻きの中で生活してゐる、近代人の心と眼の疲勞を慰安して呉れるものです。
本社はこの花に一段の興を添へ、より多くの櫻見の人々を慰める爲めに無料公開觀櫻映画の夕を催す事にしました。

◆場所 松ヶ岡第一公園
◆日時 四月二十四日
午後六時より(雨天順延)

公園の廣場で活動寫眞を映寫しますので、誰でも自由に觀覽出来るのです。
夕霧の中に匂ふ夜櫻を見る人々は其の櫻の中で、映画を見る事が出来る譯で、觀櫻の人々は花に酔ひ映画に酔ふ事が出来る事と思ひます。
◎上映映畫
目下撰擇中ですから近く本紙上に於て映画名及び其の筋書を大體發表致します。
櫻は映畫で更らに其の色を増し多くの人が、春の夕べを楽しみ得る事と思ひます。
◇上映映畫の發表をお待ち下さい
東北日日新聞社